

別記様式第2号(第8条関係)

議員に係る政務活動費収支報告等

令和5年3月31日

糸満市議会議長 殿

議員名 前田 潤  印

令和4年度政務活動費収支報告について

糸満市議会政務活動費の交付に関する条例第8条第1項に基づき、別紙のとおり
令和4年度政務活動費収支報告書を提出します。

令和4年度政務活動費収支報告書

議員名: 前田 潤

1 収 入

政務活動費 240,000 円

2 支 出

(単位:円)

項 目	金 額	備 考
調 査 研 究 費	0	
研 修 費	62,420	地方議員研究会「子育ての悩み」と行政支援への「不満」
広 報 費	115,500	議会活動報告(印刷、折込代)
広 聴 費	0	
要請・陳情活動費	0	
会 議 費	0	
資 料 作 成 費	0	
資 料 購 入 費	112,800	新聞(日本教育新聞・沖縄タイムス・琉球新報)、書籍代
人 件 費	0	
事 務 所 費	0	
合 計	290,720	

3 残 額 0 円

(注) 備考欄には、主たる支出の内訳を記載する。

会 計 帳 簿

会派名又は議員名

前田 潤

令和4年度

単位：円

月	日	摘 要	収入額	支出額	残 額	支 出 項 目 (領収書等整理番号)									備 考			
						調査研究費	研修費	広報費	広聴費	要請・陳情 活動費	会議費	資料作成費	資料購入費	人件費		事務所費		
4	21	政務活動	120,000		120,000													
10	11	政務活動	120,000		240,000													
		研修費			240,000													
1	13	地方議員研究所セミナー 参加旅費		31,000	209,000		31,000	1										
2	14	県外研修交通費 (羽田～新橋)		640	208,360		640	2										
2	15	県外研修交通費 (新橋～有楽町)		140	208,220		140	3										
2	15	県外研修交通費 (有楽町～浜松町)		140	208,080		140	3										
2	15	県外研修交通費 (浜松町～羽田)		500	207,580		500	3										
2	15	地方議員研究所セミナー 参加費		30,000	177,580		30,000	4										
		広報費			177,580													
3	14	議会報告使り		115,500	62,080													
		資料購入費			62,080													
5	13	日本教育新聞購読料		33,000	29,080								33,000	6				
2	15	書籍代		6,000	23,080								6,000	7				
2	28	沖縄タイムス購読料 (4月～3月分)		36,900	-13,820								36,900	8				
累 計			240,000	253,820	-13,820		62,420	115,500					75,900					

研 修 費

研修報告

(令和5年2月14日～15日)

前田 潤

調査研究・研修活動実績報告書

提出日 令和5年3月 / 日

議員氏名	前田潤 	*会派の場合 会派名 会派代表者	印
調査・研修期間	令和5年2月14日(火) ～ 令和5年2月15日(水)		
参加者氏名	前田潤 ・ 大城むつみ ・ 伊敷郁子		
場所(調査・研修先)	東京都千代田区有楽町1丁目12-1新有楽町ビル2階		
調査・研修先説明者	主催・地方議員研究会 講師・山下真理子		
市政との関連性	子ども家庭庁が新設される中、子育て支援の重要性は、益々本市でも重要課題です。とりわけ不登校児童や、ヤングケアラーも問題も深刻です。母子世帯や父子世帯等を含め子どもの育ちの保障をどう解決していくか現場の声を参考に課題解決の糸口をつかめたらと思います。		
目的・内容	①現場からみる家庭教育支援 ②現場からみる不登校支援 議員が絶対知っておきたい現場視点。子育て世帯の「子育ての悩み」と行政支援への「不満」 少子高齢社会だからこそ求められる家庭教育支援 家庭教育支援チームやチームや学校で家庭教育を支える 不登校予防は、将来の引きこもり予防 こども家庭庁設立における「こどもまんなか社会」		
成果・所感 (市政の課題等に対しどのように参考になったか)	学校現場だけでは解決できない子供たちの教育問題がクローズアップされてきている。当市でも不登校の子供たちが数百名の上ると議会の答弁にもあった。今回の研修では専門の研究者であり多くの父母たちへのアドバイス等で実績のある講師から多くの事例を通して学ぶことができた。自分の学校時代や自分の子育て時代を思い出しながら、また知人の子どもの不登校事例なども比較しながら受講できた。受講した内容から不登校の形は様々である。講師は母子登校の事例を通して叱り過ぎてないか、学校へ行ってくれるなら子どもの言いなりになってないかなど分析して対応策を教えている。子どもの不登校だけの問題ではなくて、家族丸ごとの問題として捉えて父母への働きかけやアドバイスの必要性を説いている。不登校の子どもが登校に至るまでの段階ごとに適切な子どもへの対応を父母にしてもらった成功事例などを紹介していただいた。スクールカウンセラー、臨床心理士、スクールソーシャルワーカーの学校への配置の重要性をとり、尚且つ視点の違う三者を統合してより適切な対応を求めるお話もあった。学校って行かなくても良いんだよねで子どもの不登校を良い意味で肯定するお話がある中でそれだけですむわけがない現実がある。行政としてどう取り組むか、課題は多い。当市においては解決策の事例を積み重ね、多様な施策を取り組んでいただきたい。私もこれらのことに資することができるように研鑽を深めて取り組む。		

※ 成果・所感は別途報告様式に替えることができる。

※ 面談者の名刺の写しや写真等を添付すること。



5.3.1 活動実績旅費等明細書

提出日 令和 5 年 3 月 / 日

議員氏名	前 田 潤		*会派の場合 会派名 会派代表者	
要請・視察研修	令和5年2月14日（火）～令和5年2月15日（水）			
参加者氏名	前 田 潤・ 大 城 むつみ ・ 伊 敷 郁子			
場 所 (要請・研修先)	地方議員研究会（東京都千代田区有楽町1丁目12-1新有楽町ビル2階）			
支出科目	調査研究費 ・ 研修費			
調査研究・研修活動に要した旅費等経費	使途項目	内 容	金 額	備 考
	航空券	那覇⇄東京ホテルパック代金	31,000 円	
	交通費	羽田～新橋	640 円	
		新橋～有楽町	140 円	
		有楽町～浜松町	140 円	
		浜松町～羽田	500 円	
	セミナー参加費	地方議会研究会	30,000 円	
			円	
			円	
			円	
			円	
			円	
合 計			62,420 円	

整理番号 /

【項目】	<input type="checkbox"/> 調査研究費	<input checked="" type="checkbox"/> 研修費	<input type="checkbox"/> 広報費	<input type="checkbox"/> 広聴費	<input type="checkbox"/> 要請・陳情活動費
	<input type="checkbox"/> 会議費	<input type="checkbox"/> 資料作成費	<input type="checkbox"/> 資料購入費	<input type="checkbox"/> 人件費	<input type="checkbox"/> 事務所費

領 収 証

RECEIPT

TZ No. XXXXXXXXXX

2023年 1月 13日

マエダ ジュン 様

領収金額		百	千	¥	3	1	0	0	0
------	--	---	---	---	---	---	---	---	---

上記金額には消費税等¥
が含まれています。

但し、航空券代金 クーポン券代金 団体旅行代金 申込金として

ホテル代金等 (保険料含む)

上記正に (現金・クレジットカード・) で領収致しました。

〒901-1117 沖縄県南風原町津嘉山1471-2
 発行店 TEL. TEL (098)888-4649 FAX (098)888-4653

発行店 **沖縄リゾート株式会社**

発行者 サンエーつかざんシティ旅行センター

沖縄リゾート株式会社

経理部 沖縄県那覇市松尾

印
紙

2 (お客様用)

ご搭乗案内

BOARDING INFORMATION

マエダ ジュン 様

行先 DESTINATION

東京/羽田

TOKYO/HANEDA

搭乗日 DATE

2023年 2月14日

便名 FLIGHT ANA 460

座席 SEAT 38C

照会番号 XXXXXXXXXX

ご搭乗案内

BOARDING INFORMATION

マエダ ジュン 様

行先 DESTINATION

沖縄

OKINAWA

搭乗日 DATE

2023年 2月15日

便名 FLIGHT ANA 479

座席 SEAT 35H

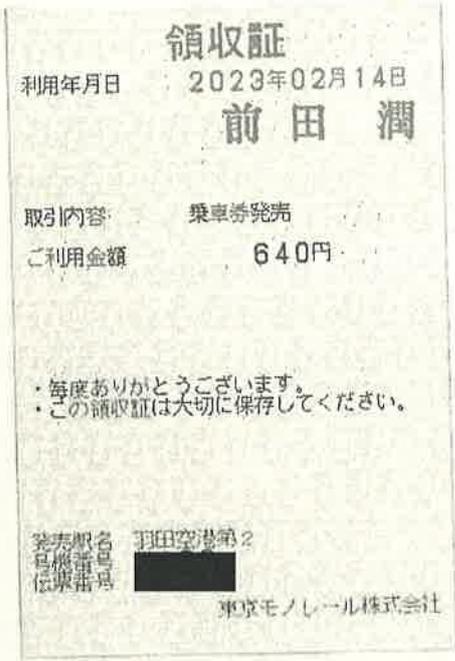
照会番号 XXXXXXXXXX

小計額	31,000 円	按分率	/	充当額	31,000 円
-----	----------	-----	---	-----	----------

【参考様式 ⑦】 領収書貼付用紙

整理番号 2

【項目】	<input type="checkbox"/> 調査研究費	<input checked="" type="checkbox"/> 研修費	<input type="checkbox"/> 広報費	<input type="checkbox"/> 広聴費	<input type="checkbox"/> 要請・陳情活動費
	<input type="checkbox"/> 会議費	<input type="checkbox"/> 資料作成費	<input type="checkbox"/> 資料購入費	<input type="checkbox"/> 人件費	<input type="checkbox"/> 事務所費



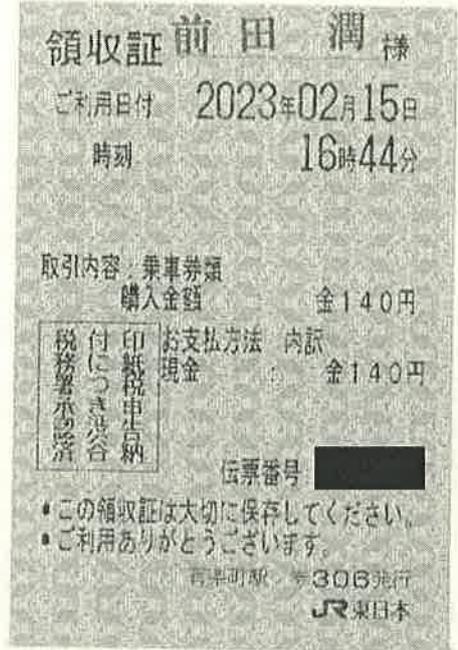
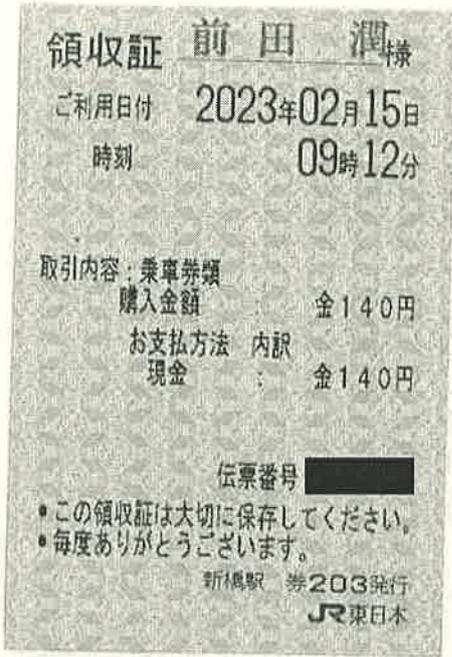
2月14日 羽田空港～赤毛(新橋)

EILK	500円
TR	140円

640円

小計額	640 円	按分率	/	充当額	640 円
-----	-------	-----	---	-----	-------

【項目】	<input type="checkbox"/> 調査研究費	<input checked="" type="checkbox"/> 研修費	<input type="checkbox"/> 広報費	<input type="checkbox"/> 広聴費	<input type="checkbox"/> 要請・陳情活動費
	<input type="checkbox"/> 会議費	<input type="checkbox"/> 資料作成費	資料購入費	<input type="checkbox"/> 人件費	<input type="checkbox"/> 事務所費



新橋 → 有楽町
(本札) (セチー合塔)

有楽町 → 浜松町
(セチー合塔) → (エール丸)



浜松町 → 羽田空港
(エール丸)

小計額	780 円	按分率	/	充当額	780 円
-----	-------	-----	---	-----	-------

【項目】	<input type="checkbox"/> 調査研究費	<input checked="" type="checkbox"/> 研修費	<input type="checkbox"/> 広報費	<input type="checkbox"/> 広聴費	<input type="checkbox"/> 要請・陳情活動費
	<input type="checkbox"/> 会議費	<input type="checkbox"/> 資料作成費	資料購入費	<input type="checkbox"/> 人件費	<input type="checkbox"/> 事務所費

領収証

2023 年 2 月 15 日

前田潤 様

★ ¥30,000

但 2/15 10時～ 現場から視る家庭教育支援
 2/15 14時～ 現場から視る不登校支援
 研修会受贈代として

上記正に領収いたしました

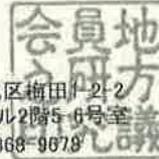
地方議員研究会

〒530-0001

大阪府大阪市北区梅田1-21-2

大阪駅前第2ビル2階5-6号室

TEL 050-6868-9678

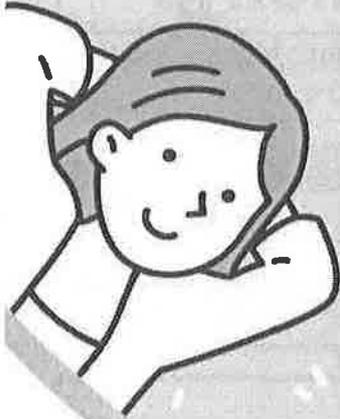


小計額	30,000 円	按分率	/	充当額	30,000 円
-----	----------	-----	---	-----	----------

議員が絶対知っておきたい現場視点!

子育て世帯の

「子育ての悩み」と
行政支援への
「不満」



in
大阪

1 / 24^火

in
東京

2 / 15^水

10:00 ~ 12:30

現場から見る家庭教育支援

- ・ 少子高齢社会だからこそ求められる家庭教育支援
- ・ 子ども家庭庁設立における『就学前の子どもの育ち』と『こどもまんなか社会』
- ・ 家庭教育支援チームやチーム学校で家庭教育を支える
- ・ 不登校予防は引きこもり予防 ~ 家庭教育支援事例紹介 ~

14:00 ~ 16:30

現場から見る不登校支援

- ・ 増加の一途をたどる現在の「不登校」とは
- ・ 誰1人取り残さない不登校支援とは
- ・ ヤングケアラーなどの様々な課題に何ができるか
- ・ 保護者の声と不登校支援の実際

講師

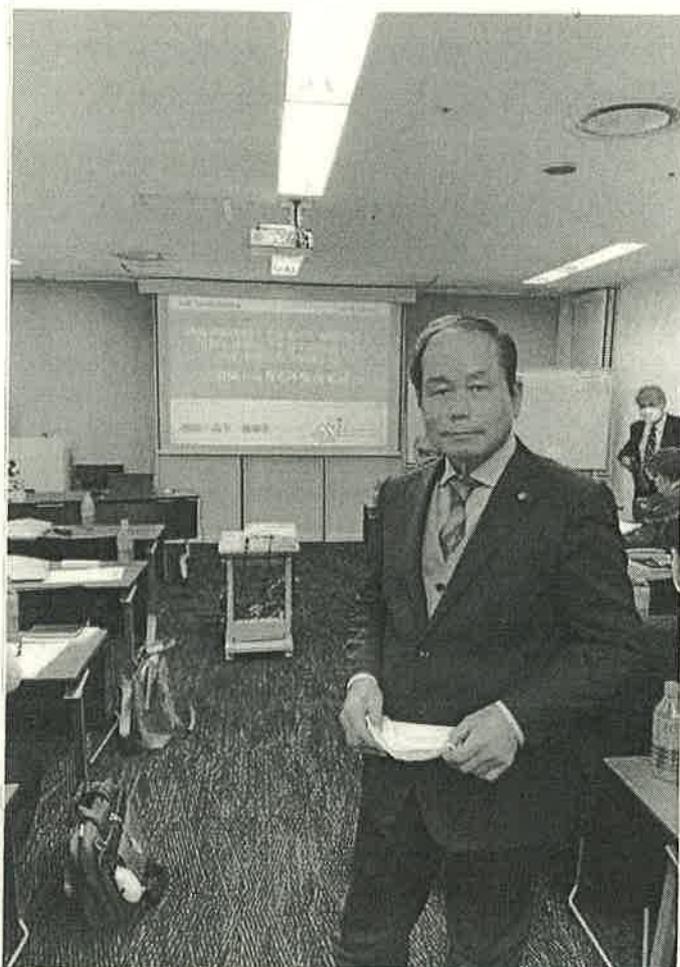


やました まりこ
山下 真理子

MIKURU・MIRU(ミクル・ミル)代表

民間の不登校支援機関(一社)家庭教育支援センターベアレンツキャンプにて文科省家庭教育支援に関する検討委員を歴任してきた代表に師事。チーフ家庭教育アドバイザーを10年務めた後、独立。現在MIKURU・MIRU(ミクル・ミル)代表。不登校や家庭内暴力などに悩む保護者に寄り添い、具体的なアドバイスで数多くのケースを復学へと導いてきた。家庭教育支援について各方面でセミナー講師を務める(山口県教育委員会、和歌山県教育委員、PTAほか)日本唯一の心理国家資格 公認心理師。
出版書籍:『これで解決!母子登校~不登校にしない、させない家庭教育~』

研修会場



セミナー参加行程表

- 1、期 日 令和3年2月14日(火)～2月15日(水)
- 2、行 程 2月14日 8時0分発ANA460便で羽田空港へ
10時10分羽田空港着
10時40分モノレールにて浜松町へ
11時30分浜松町駅から新橋駅着
12時 ホテル着(相鉄フレッサイン新橋日比谷口)
東京都港区新橋1-14-3 ☎03-5157-2031
- 2月15日 9時ホテル出発(有楽町1丁目新有楽町ビル2)へ
10時セミナー開始
16時30分セミナー終了後羽田空港へ
20時15分発ANA479便で那覇空港へ
23時05分着帰路へ
- 3、セミナー内容 (株)地方議員研究会主催
講師 山下 真理子(親まなびアドバイザー)
主に不登校や家庭内暴力に悩む親を支援。
家庭教育支援アドバイザー
演題 「現場から視る家庭教育支援」
「現場から視る不登校支援」

廣 報 費

整理番号 5

【項目】	<input type="checkbox"/> 調査研究費	<input type="checkbox"/> 研修費	<input checked="" type="checkbox"/> 広報費	<input type="checkbox"/> 広聴費	<input type="checkbox"/> 要請・陳情活動費
	<input type="checkbox"/> 会議費	<input type="checkbox"/> 資料作成費	<input type="checkbox"/> 資料購入費	<input type="checkbox"/> 人件費	<input type="checkbox"/> 事務所費

領 収 証

No. XXXXXXXXXX

得意先コード	お 得 意 先 名
	前田 潤 殿

2023年3月14日

¥ 115,500



但し前田潤議会印刷榕樹 5,000枚

上記金額正に領収致しました。A4X4P.1回折

創刊了

内 訳	現 金	
	小 切 手	
	銀行振込	
	手 形	
	相 殺	

担当者印	取扱者印

あけぼの印刷株式会社
 〒900-0016 沖縄県那覇市前島3-1-17 F2
 TEL (098) 861-9145
 FAX (098) 861-9148

小計額	115,500 円	按分率	/	充当額	115,500 円
-----	-----------	-----	---	-----	-----------



創刊号

糸満市の市花「日日草」

前田潤議会だより

榕樹

がじゅまる

発行人 前田潤

〒903-0323

糸満市新垣541-1

電話 090-1942-5103

Fax 098-995-0534

印刷

あけぼの印刷株式会社

〒900-0016

那覇市前島3-1-17

電話 098-861-9145

Fax 098-861-9148



議会だより『榕樹』の発刊にあたって

がじゅまる

私は、二〇二二年十一月の糸満市議会議員選挙で、皆様のご支援・ご協力のお陰で当選する

糸満市議会議員 前田潤

私は、二〇二二年十一月の糸満市議会議員選挙で、皆様のご支援・ご協力のお陰で当選する。お礼申し上げます。当選から一年三カ月が過ぎ、この間五回の市議会が開かれ、立候補の際に掲げた「辺野古の新基地建設の埋め立てに糸満南部の土砂は使わせないこと、国民健康保険を安くすること、学校給食を無料にすること」等、市民の要求を実現するため、議会で質問する

冠水による被害対策を求める

一宅地開発などが冠水の原因、早急の改善対策を



冠水の状況を示す(指先)農家の人

昨年九月に開催された市議会において、私は六項目(①冠水被害対策、②健康長寿、③個人情報、④市長の政治姿勢、⑤税制、⑥老朽校舎)について質問しました。冠水被害対策についての要旨を報告します。

河川流域の面積、冠水対策は?

前田 大里から報得川に流れる県道糸満与那原線手前の河川流域における冠水問題について。その面積、最下流の川幅・高さ、旧軽便鉄道のコンクリート橋・県道糸満与那原線の暗梁橋の川幅・高さ、冠水させないための川幅・高さ、解決のために補助事業導入できない理由、改善するための方法について検討されたか。経済部長 冠水地域の面積は、全流域面積133畝、うち土地改良区内29畝、残り104畝は

とともに地域で活動をしてきました。

本来ですと、議会ごとに、その都度報告すべきでしたが、日頃の忙殺に追われ報告できなかったことをお詫びいたします。

今回、あけぼの印刷(株)のご協力を得て、前田潤議会だより『榕樹(がじゅまる)』を発刊することになりました。今後、議会(年四回)ごとに報告ができるよう発行していく予定です。よろしく願います。

地区外からの流入。河川の最下流の川幅は2・59畝、高さ1・4畝。旧軽便鉄道コンクリート橋の幅は2・4畝、高さ2畝。暗梁橋の幅3・6畝、高さ2・8畝。冠水させないための川幅と高さは、近年における降雨強度、またはその他の諸条件を加味し排水断面を検討する必要があり、再度調査を行う必要があると理解

するため、現時点では特定できない。補助事業ができない理由は、当該水路は農振農用地域外に位置するため幹線排水路整備は困難と考えている。改善するための方法では、真壁西地区として実施している農村集落基盤再編整備事業において、令和6年度以降に事業採択を予定している高嶺地区において冠水対策が図れないか、今後県と調整していきたい。

前田 川幅が川上より川下が狭くなるというのは、正常でしょうか。経済部長 一般論で言えば、川

下が大きくなるべきだと思う。

冠水が起こる原因は?

前田 地元の人々の説明では、以前よりも冠水の度合いがひどく

(二面からのつづき)

なっていると云っているが、どうかが考えられるか。

経済部長 流域面積の土地改良区内を除いた残り1004畝は、宅地開発が進んでいる地区外からの流入が原因となって冠水が起るものと認識している。

前田 県道7号線からも流入しており、県にもこの問題を改善するための責任があるのではないか。

経済部長 すぐに県の責任を問う前に調査等も必要なので、今後、県と市とお互いに協議して事業をすすめたい。

前田 なぜ、この冠水地区は、上流は整備されて下流はそのままだけに長期間放置されているのか。

経済部長 下流地においても、大里北土地改良事業を実施する予定でしたが、諸事情で計画から外れ、よって排水路整備がなされていない状況。

前田 ゴルフ場の道路からもかなり雨水が県道7号線に流入して流水を増やしている。このことは、影響しているのではないかと。

経済部長 ゴルフ場の開発も含めて、冠水の一つの原因と考えている。冠水対策で、それ相当の改善対策費がかかる。

環境行政―漂着ゴミ問題、大渡海岸の環境保全について

―ウミガメの産卵の保護、ボランティアへの支援を―

当選後、初の議会であった二〇二二年十二月の議会では四

項目(①農村整備行政、②環境行政、③国民健康保険事業、④学校給食)について質問しました。環境行政について要旨を報告します。



漂着した軽石とゴミ

軽石漂着によるウミガメへの影響の対応は?

前田 軽石の漂着によるウミガメの産卵に影響を及ぼすことが危惧されるが、対応を伺う。漂着ゴミの処理費用は県が負担すべきと考



ボランティアがゴミを収集

えるが、県に要求するか。市民健康部長 ウミガメの産卵時期である夏場までに

は市や関係機関、前田 亀の卵を守る会のボランティアが一年365日36人体制で雨の日も風の日も見守りと収集活動している。系満市としてボランティア団体への支援をお願いしたい。保安林の場所が駐車場化していることについて

ボランティア団体への支援を!

系満市の考え方を伺う。経済部長 市としては、保安林に基づいた形でできないか、例えば

市長の政治姿勢について

前田 市長の言う保守とは、市民党とは何か。

市長 保守とは、急激な改革を取らない立場。市民党とは、二年前の選挙でどの政党からも公認や推薦を受けずに多くの市民を背に選挙戦をたたかわせていただいた、そのことで市民党ということとさせていた

インボイス税制の影響について

前田 インボイス税制は、どのような影響があるか。

経済部長 免税事業者が登録を受けた場合はインボイスを発行でき、課税業者として消費税の申告が必要。受けない場合、インボイスは発行できず、売上先は仕入れ税額控除が適用されない。

健康長寿のまちづくりを!

―老人クラブの結成率を高める対策を―

昨年三月の議会では七項目(①健康長寿のまちづくり、②教育行政、③環境問題、④農業政策、⑤燃料高騰への対策、⑥公園整備事業、⑦オスプレイの実態)について質問しました。健康長寿のまちづくりについて要旨を報告します。

老人クラブの現状と結成率を高める対策は?

前田 老人クラブの現状について、老人クラブ

の社会的役割、老人クラブへの市の助成、老人クラブの結成率を高める対策を伺う。

福祉部長 老人クラブとは地域を基盤とする高齢者の自主的組織。目的は仲間づくりを通して生きがいと健康づくり、生活を豊かに楽しい活



新垣老人クラブのグランドゴルフ大会

動を行うとともに、その知識や経験を生かして地域の諸団体と協働し、地域を豊かにする社会活動に取り組み、明るい長寿社会づくり、保健福祉に努めるこ

と。活動に参加することにより、高齢者が安心して暮らせる地域づくりや、介護予防の効果が期待できる活動と、認識している。

老人クラブへの市の助成は、単位老人クラブ11カ所へ合計108万円。市老人クラブ連合会へ202万4000円、南部地区老人クラブ連合会へ70万2000円の補助金を予算化している。

市長 単位老人クラブ数が減少傾向にあるので、その要因を探り、高齢者が求めている活動を把握することを目的に、高齢者の社会参加へのニーズを調査している。その結果を分析し、高齢者の生活実態に合った老人クラブの活動が展開できるように、今後のあり方について、市老人クラブ連合会と検討を進める予定。

また、参加促進に向けて、市のホームページや広報紙等へ活動内容を掲載し協力していく。

老人クラブが存続できなくなった原因は?

前田 単位老人クラブ数は、ピーク時38単位あった。令和3

年度において、糸老人クラブ連合会は、11単位クラブ、会員数564名とのこと。各地の老人クラブが存続できなくなった原因を、市当局はどのように考えているか。

福祉部長 地区ごとにそれぞれ要因は違うとは思いますが、私どもに届いている声は、老人クラブに加入することで、補助金の請求や会費の納付等、事務処理業務などから役員の担い手がいらない、会費に見合う活動がない等の声を確認している。

前田 昨日、糸満老人クラブ連合会の会長とお会いしてきた。会長から財政、会費、派遣費の補助等、市当局への要望も含め

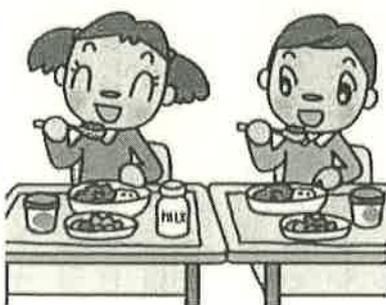
学校給食について

前田 より安全な地元の食材の活用を求める。学校給食の無償化を求める。

教育長 地元産の食材については、JAファーマーズで会議を開き、地元産食材を活用している。学校給食費の無償化は厳しい、保護者の負担軽減は必要と

たメモを頂いて説明を受けた。このような状況にあって、市はどのように対処されるか、伺う。福祉部長 老人クラブ連合会から要望書を受けている。補助対象経費の見直しは、本年度予算の中で調整して支給できないかと、準備をすすめている。市からの補助金額は維持ペースなので、加入者が減少している中で、一人あたりの補助金額は年々上昇している。補助の見直しについては連合会の運営の中身を一緒に調べて精査させていただき、その上で見直しを一緒に研究していく必要があると考えている。次年度の中で調整させていきたいと考えている。

認識し、令和3年度は給食費の負担軽減を図っている。



農業・漁業行政について

—糸満市は、県の農業・漁業を牽引する重要な産業—



糸満市にとって農業は重要な産業である

昨年六月の議会では七項目(①道路行政及び冠水対策、②農業・漁業行政、③教育行政、④コロナワクチンの副反応、⑤農村地域公園の遊具、⑥摩文仁、宇江城の土地改良事業、⑦平和行政)について質問しました。農業・漁業行政、教育行政について要旨を報告します。

もろもろの高騰の実態、その対策は?

前田 糸満市は、沖縄県の農業、漁業を牽引しており、糸満市にとってこの第一次産業は非常に重要な産業である。燃料、肥料、飼料、その他もろもろの高騰の実態を把握しているか、その対策を国や県に求めている

か、伺う。

経済部長 国などの補助金制度を農家の皆さんに周知を図り、支援につなげていくとともに、

今後、国や県の動向を注視しながら市独自の取り組みが必要か検討してみたいと考えている。

前田 やはり、国や県待ちはではなくて、糸満市で農家のためにこういうことをしたいということ

とを述べて、そして国、県に強く要求していくということをし

ていただきたい。

教育行政—子どもの権利条約やヤングケアラーの実態

権利条約、校則の目的は?

前田 子どもの権利条約についての認識、校則について、その目的、校則指導において人権はどのように配慮されているか、ヤングケアラー、カウンセラーの配置、部活の外部指導員の実態について伺う。

教育長 子どもの権利条約とは、子どもが一人の人間として基本的人権を所有し、それを行使する権利を保障する条約と認識している。校則は教育的意義を有していると認識している。一人一人に応じて適切な指導を行うとともに、児童生徒の内面的な自覚を促し、校則を自分のものとして自主的に取り組むことができるよう配慮した対応を行っている。

教育委員会教育指導監 ヤング

平和行政について

前田 中国と台湾が紛争になるかも知れないとの理由で、南西諸島における自衛隊基地の強化並びに米軍の民間空港使用が増加している。沖縄が戦場になっ

てはならないと考えるが、市長の見解を伺う。
市長 糸満市は沖縄戦最後の激戦地となり多くの命や財産が失われた。この歴史的背景を持つ本市は、基本理念に「ひかりとみどり」といのちのまちを掲げ、平成五年平和都市宣言を行っている。あの悲惨な戦争が二度と繰り返さないよう、後世に伝えることが私たち糸満市民の使命であると認識している。

糸満市議会の構成

議会運営委員会

- 委員長：金城幸盛
- 副委員長：山内竜二
- 委員：浦崎 暁
- 他 5 名

総務委員会

- 委員長：金城一文
- 副委員長：金城 敏
- 委員：5 名

民生委員会

- 委員長：浦崎 暁
- 副委員長：新垣勇太
- 委員：5 名

経済建設委員会

- 委員長：金城 敦
- 副委員長：山内竜二
- 委員：前田 潤
- 他 4 名

資料購入費

【項目】	<input type="checkbox"/> 調査研究費	<input type="checkbox"/> 研修費	<input type="checkbox"/> 広報費	<input type="checkbox"/> 広聴費	<input type="checkbox"/> 要請・陳情活動費
	<input type="checkbox"/> 会議費	<input type="checkbox"/> 資料作成費	<input checked="" type="checkbox"/> 資料購入費	<input type="checkbox"/> 人件費	<input type="checkbox"/> 事務所費

領 収 証

沖縄県糸満市議会 前田 潤 様
(コード: XXXXXXXXXX)

金 額 : ¥33,000-

但し 日本教育新聞 購読料

購読期間(年月) : 2022年4月 ~ 2023年3月

支払方法 : コンビニエンスストア払い

領収日 : 2022/5/13

上記の金額正に領収いたしました

株式会社日本教育新聞社
東京都港区白金台3-2-10
TEL 03-3280-7025

印 収
紙 入



扱
者
印

小計額	33,000 円	按分率	/	充当額	33,000 円
-----	----------	-----	---	-----	----------

【項目】	<input type="checkbox"/> 調査研究費	<input type="checkbox"/> 研修費	<input type="checkbox"/> 広報費	<input type="checkbox"/> 広聴費	<input type="checkbox"/> 要請・陳情活動費
	<input type="checkbox"/> 会議費	<input type="checkbox"/> 資料作成費	<input checked="" type="checkbox"/> 資料購入費	<input type="checkbox"/> 人件費	<input type="checkbox"/> 事務所費

領 収 証

前田 潤

様

2023年 2月 15日

★	¥6,000-
---	---------

但書籍代として

上記正に領収いたしました

内 訳 _____

税抜金額 _____

消費税額等(%) _____

〒530-0041大阪府大阪市北区天神橋2-2-10
ワイズビル 8F

TEL 06-6766-4470

一般社団法人家庭教育支援センターペアレンツキャンブ

コクヨ ウケ-1048

小計額	6,000	円	按分率	/	充当額	6,000	円
-----	-------	---	-----	---	-----	-------	---

整理番号 8

【項目】	<input type="checkbox"/> 調査研究費	<input type="checkbox"/> 研修費	<input type="checkbox"/> 広報費	<input type="checkbox"/> 広聴費	<input type="checkbox"/> 要請・陳情活動費
	<input type="checkbox"/> 会議費	<input type="checkbox"/> 資料作成費	<input checked="" type="checkbox"/> 資料購入費	<input type="checkbox"/> 人件費	<input type="checkbox"/> 事務所費

領 収 証

前田 潤

様 No. _____

★ 36,900

但 12ヶ月分

2023年2月28日 上記正に領収いたしました

内 訳 2022年4月分～2023年3月分

収 入
印 紙

コクヨ ウケ-1097

税抜金額 _____

消費税額等(%) _____

**沖縄タイムス
真壁販売店**



小計額	36,900 円	按分率	/	充当額	36,900 円
-----	----------	-----	---	-----	----------

整理番号 9

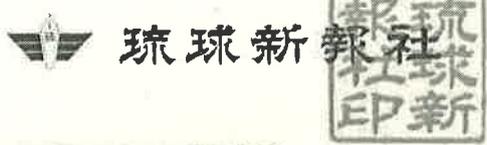
【項目】	<input type="checkbox"/> 調査研究費	<input type="checkbox"/> 研修費	<input type="checkbox"/> 広報費	<input type="checkbox"/> 広聴費	<input type="checkbox"/> 要請・陳情活動費
	<input type="checkbox"/> 会議費	<input type="checkbox"/> 資料作成費	<input checked="" type="checkbox"/> 資料購入費	<input type="checkbox"/> 人件費	<input type="checkbox"/> 事務所費

領 収 書

No. _____

前田 潤

様



平成 5 年 3 月 25 日

琉球新報 平風(二)販売店
 店主 XXXXXXXXXX
 携帯 XXXXXXXXXX

下記の通り領収致しました。

金 額 ¥ 36,900-

内 訳	数 量	単 価	金 額	備 考
琉球新報 (令和4年4月分~ 令和5年3月分) (税込8%)×	124冊	3095	36,900	
軽減税率対象				
合 計			¥ 36,900-	